松岩地区市政懇談会

復興から創生へ
－みんなが主役のまちづくり－

2018年10月19日
気仙沼市

人口及び世帯数の変化

		平成23年 2月末 ※1 (A)	平成24年 2月末 ※2	平成29年 9月末 (B)	平成30年 9月末 (C)	震災前との比較 C－A	一年前との比較 C－B
気仙沼市全体	人口（人）	74,247	69,986	65,138	64,065	▲ 10,182	▲ 1,073
	【増減率】					【▲13.7%】	【▲1.6%】
	〔高齢化率〕	〔30.2%〕	〔30.4%〕	〔36.2%〕	〔36.9%〕		
	男（人）	35,950	33,879	31,693	31,137	▲ 4,813	▲ 556
	女（人）	38,297	36,107	33,445	32,928	▲ 5,369	▲ 517
	世帯数	26,601	25,555	26,422	26,458	▲ 143	36
松岩地区	人口（人）	8,712	8,484	8,737	8,678	▲ 34	▲ 59
	【増減率】					【▲ 0.4%】	【▲0.7%】
	〔高齢化率〕	〔28.0%〕	〔28.4%〕	〔34.7%〕	〔35.4%〕		
	世帯数	3,170	3,118	3,531	3,572	402	41

※1，※2：外国人登録者数を含まず（平成24年7月9日外国人登録法は廃止されました）

気仙沼市全体　外国人登録者数 ※1：人口 464　男 40　女 424　世帯数 402

※2：人口 264　男 37　女 227　世帯数 225

地区別の外国人登録者数データなし

1. 復興の現状と
今後の事業展開

2.市民が主役の
まちづくりに向けて

住宅環境－災害公営住宅整備事業等－

（1）災害公営住宅整備事業（平成30年9月末時点）

住宅名		整備戸数	入居確定・申込世帯数	入居済世帯数	退去世帯数	空き室戸数
赤岩五駄鱈住宅		21戸	21世帯	21世帯	0世帯	0戸
牧沢住宅	戸建	165戸	165世帯	165世帯	3世帯	3戸
	長屋	79戸	56世帯	54世帯	1戸	24戸

空室については，未だに住宅再建方法が決定していない被災者の申込みに対応する戸数を確保したうえで，なお空室が見込まれる住宅について，一般の方々を対象に年４回（6月･9月･12月･3月）実施している定期募集で入居者を募集します。

（2）復旧事業で整備した集会場・コミュニティセンター

施設名	所在地	面積	構造・階数	完成時期
牧沢コミュニティセンター	赤岩牧沢138番地28	172㎡	鉄骨造平屋	平成29年5月
片浜コミュニティセンター	松崎浦田70番地36	144㎡	軽量鉄骨造平屋	平成29年8月
杉ノ沢コミュニティセンター	赤岩杉ノ沢8番地15	174㎡	軽量鉄骨造平屋	平成29年11月
小田コミュニティセンター	赤岩小田15番地62	142㎡	木造平屋	平成30年3月
※前浜精義会館（自治会所有施設）	松崎前浜139番地8	155㎡	木造平屋	平成30年3月

※市の補助金（被災集会施設再建事業補助金）により前浜精義会が復旧

住宅環境－松岩地区内の応急仮設住宅（プレハブ型）の入居状況と集約・解体撤去予定－

（１）応急仮設住宅（プレハブ型）の入居状況（平成30年10月1日時点）

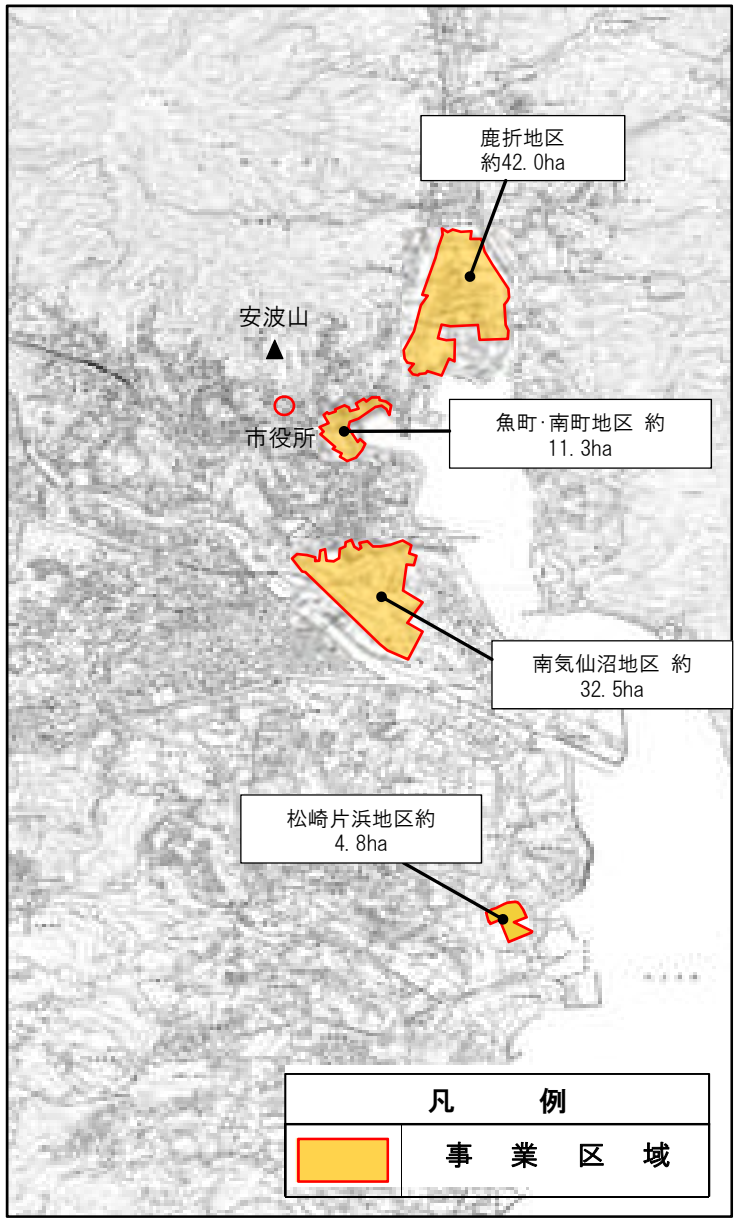
団地数	建設戸数	入居戸数 【入居率】	入居世帯数	入居者数
19団地	524戸	18戸 【3.4%】	15世帯	32人

（２）応急仮設住宅（プレハブ型）の集約・解体撤去予定（平成30年10月現在）

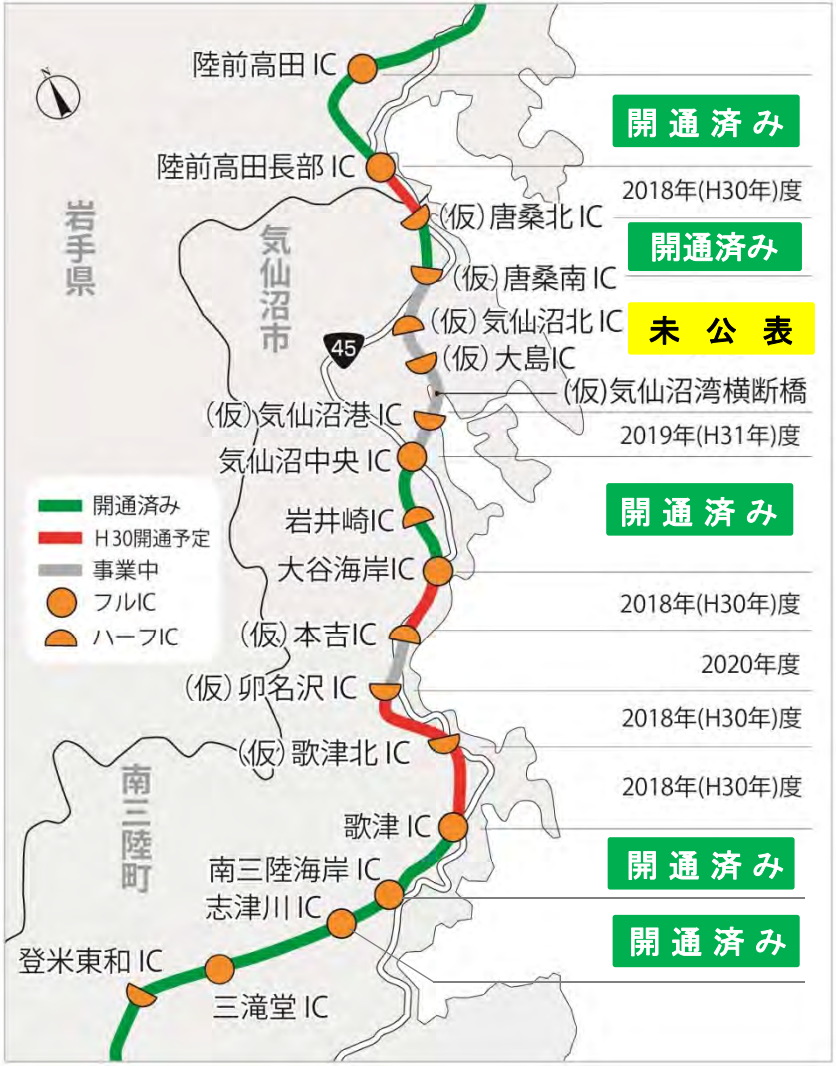
平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
・赤岩杉ノ沢住宅 ・松崎柳沢住宅 （上沢下）	・松岩中学校住宅 ・水梨小学校住宅 ・赤岩石兜住宅 ・赤岩老松住宅 南 ・赤岩五駄鱈住宅 東 ・赤岩五駄鱈住宅 西 ・赤岩舘森住宅 ・赤岩舘森住宅 北 ・松崎萱住宅	・赤岩老松住宅 北 ・気仙沼西高校住宅 ・松崎柳沢住宅 （後沢） ・松崎柳沢住宅 （上沢） ・三峰公園住宅 （８月以降解体開始，H31.3月までに原形復旧完了）	・気仙沼市総合体育館住宅 ・市営テニスコート住宅 ・水梨コミュニティー住宅 ※解体スケジュールは今後

住宅環境 －土地区画整理事業－

地区名	整備面積	事業認可	施工期間
鹿折	約42. 0ha	H24年度	H24～31年度
南気仙沼	約32. 5ha	H24年度	H24～32年度
魚町・南町	約11. 3ha	H25年度	H25～32年度
松崎片浜	約4. 8ha	H30年度（予定）	H30～31年度（予定）



復興のリーディングプロジェクト －三陸沿岸道路－



区間距離	仙台港北ICから	2018年度	2019年度	2020年度
6.5km				
	128.3km			
3.5km		舗装工等 標識設置		
	124.8km			
3.0km				
	121.8km			
7.3km		土 工 構造物	土 工 構造物	未 定
	114.5km			
1.7km		土 工 構造物	舗装工等 標識設置	
	112.8km			
7.1km				
	105.7km			
4.0km		舗装工等 標識設置		
	101.7km			
2.0km		土 工 構造物	土 工 構造物	舗装工等 標識設置
	99.7km			
6.0km		舗装工等 標識設置		
	93.7km			
4.0km		舗装工等 標識設置		
	89.7km			
4.2km				
	85.5km			
3.0km				

※■ 土工…切り土・盛り土などの工事，構造物…橋・トンネルなどの工事

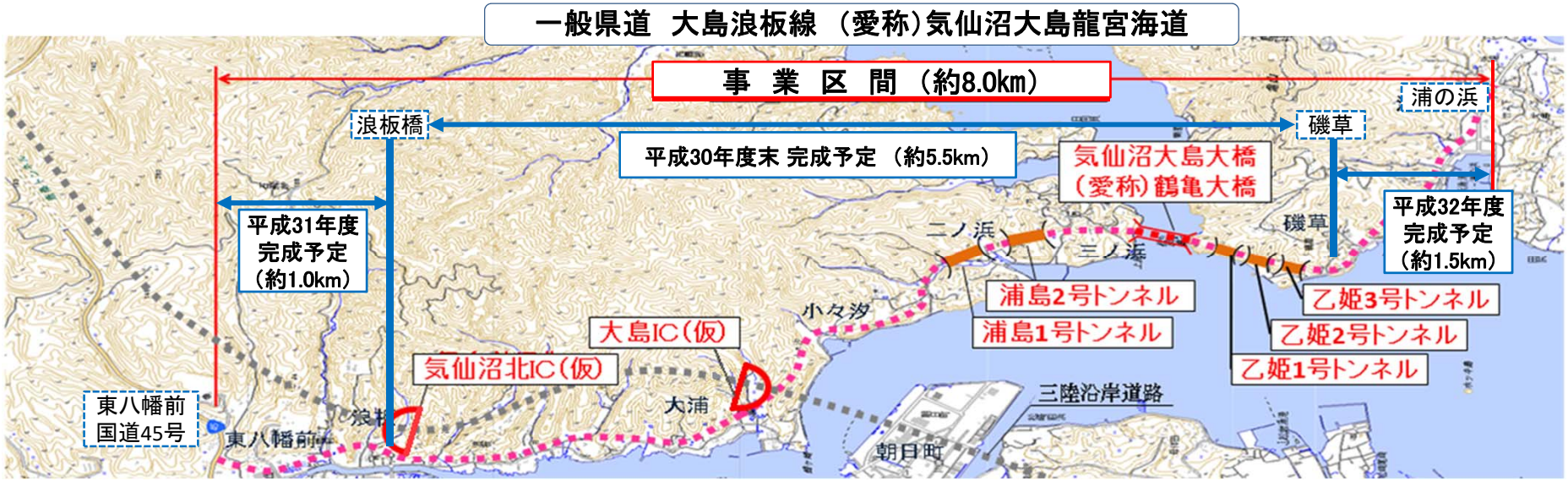
復興のリーディングプロジェクト －三陸道気仙沼湾横断橋－

- **橋の全長：L=1,344m（斜張橋部分：L=680m）**

  ⇒斜張橋では東北地方最長になる見込み

平成26年 6月29日	**着工式開催**
平成29年 3月	**高架橋部上部工工事着手**
平成29年 7月	**橋梁部上部工工事着手**

復興のリーディングプロジェクト －大島架橋－



平成29年3月　橋桁架設完了

平成30年度末	**完成予定**	**浪板橋 ～【気仙沼大島大橋】～ 磯草**			**約5.5km**
平成31年度	完成予定	東八幡前 国道45号	～	浪板橋	約1.0km
平成32年度	完成予定	磯草	～	浦の浜	約1.5km
					約8.0km

主な着工中または今後着工を予定する市の復旧・復興事業

施設名	概要	完成予定年度
1.新魚市場	密閉型低温売場を有した高度衛生管理対応型魚市場。 ●構造・階数　C,D棟：プレキャストPC造　2階建て E棟:プレキャストPC造　３階建て ●延床面積　C,D棟:17330.51㎡ E棟:10143.77㎡ ●水揚げ対象船　C,D棟:まぐろ延縄船・大目流し網船 E棟：施網船・さんま棒受け網船 ●クッキングスタジオの整備 CD棟2階海側に魚食普及の推進を図るため クッキングスタジオを整備。 面積：185㎡ 講師用調理台：１台 生徒用調理台：12台	平成30年度
2.復興祈念公園	東日本大震災による犠牲者に対する追悼と鎮魂の場であるとともに，防災への想いを新たにする場，地域の再興を実感しつつ未来永劫の安寧を祈る場として，復興祈念公園を整備。 ●場所　「陣山」地内外 ●面積　約2.3ha ●整備内容　復興祈念公園施設検討委員会において検討中 （モニュメント，震災犠牲者の銘板，寄附者の銘板，駐車場，休憩施設，トイレ，待避所等を整備予定）	平成32年度

主な着工中または今後着工を予定する市の復旧・復興事業

施設名	概要	完成予定年度
３ 気仙沼市まち・ひと・しごと交流プラザ	東日本大震災により被災した「気仙沼市観光物産センター（エースポート）」及び「勤労青少年ホーム」については，合築による再建を進め，施設名称を「気仙沼市まち・ひと・しごと交流プラザ」とし，平成31年2月開設を目標に整備を進めている。 当該施設は従前の２つの施設機能である観光・地場産業の振興や勤労青少年の健全な育成と福祉の増進に加え，対話・共創の場としての「まち大学構想」推進の拠点として活用していくものである。 ●構造・階数　鉄骨・鉄筋コンクリート造　3階建て ●敷地面積　2,025.76㎡ ●延床面積　2,403.38㎡ ●施設構成 ＜主な諸室＞ １階:観光情報コーナー，貸事務室，貸スタジオ（録音室），チャレンジショップ，ワークスペース１・２，交流サロン３，管理室，駐車場 ２階:貸スタジオ，キッズコーナー，２階ラウンジ，軽運動室，交流サロン１・２，ポートデッキ ３階:音楽室，談話スペース，展望ラウンジ，和室，研修室１・２，展望デッキ ※交流サロン1・2・3，ワークスペース1・2は「□ship」として使用	平成30年度

主な着工中または今後着工を予定する市の復旧・復興事業

<table>
<tr><th>施設名</th><th>概要</th><th>完成予定年度</th></tr>
<tr><td>4.震災遺構・震災伝承館</td><td>東日本大震災の記憶と教訓を地域と世代を超えて人々に伝えるとともに，防災・減災教育の充実や市内外の人々の多様な交流の促進を図る拠点として「震災遺構」及び「震災伝承館」を整備。
●場所　波路上瀬向９番地１　●敷地面積　25,083.35㎡
●延床面積11,119.83㎡
<table>
<tr><td colspan="2">東日本大震災遺構：9,824.83㎡</td><td colspan="2">東日本大震災伝承館：1,295.00㎡</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>区分</td><td>諸室名称</td></tr>
<tr><td>気仙沼向洋高校旧校舎等</td><td>北校舎，南校舎，総合実習棟，生徒会館，屋内運動場</td><td>震災伝承施設</td><td>映像シアター，展示室Ａ・Ｂ，講話室，展示コーナー</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>研修・交流施設</td><td>研修室Ａ・Ｂ，図書コーナー，体験交流ホールＡ・Ｂ，屋外広場</td></tr>
</table></td><td>平成30年度</td></tr>
<tr><td>5.南気仙沼復興市民広場</td><td>公園・広場の機能を集約し，多目的な利用を図り，市民の憩いの場，スポーツや運動の場として整備。
●全体面積　約5.2ha
●整備内容　多目的グラウンド，多目的広場，駐車場，トイレ，等</td><td>平成32年度</td></tr>
<tr><td>6.防災公園</td><td>平常時における日常的な公園利用の他，津波襲来時に避難が遅れた人の一時避難地として，避難築山を含む防災公園を整備。
（１）南気仙沼地区（全体面積　約2.0ha）
●整備内容　避難築山，広場，駐車場，トイレ，四阿等
（２）松崎尾崎地区（全体面積　約2.9ha）
●整備内容　避難築山，広場，駐車場，トイレ，四阿等</td><td>平成32年度</td></tr>
</table>

主な着工中または今後着工を予定する復旧・復興事業
7 大谷海岸　道の駅「大谷海岸」

【概要】
大谷海岸は風光明媚な砂浜が広がり，道の駅，地場特産品直売施設などをはじめとした市内でも有数の観光拠点となっていた。
しかし，東日本大震災により発生した大津波により，壊滅的な被害に遭った。
被災後は災害復旧事業により，直売施設のみ仮営業を行っている状況である。
本事業は，大谷海水浴場と道の駅を核とし，新設される海岸防潮堤などの計画に合わせて背後地を有効活用することにより，大谷海岸地区の賑わいと生業の再生を図るものである。

今後のスケジュール

平成30年度	道の駅「新・大谷海岸」検討委員会において，基本計画及び詳細設計を決定
平成31年度	管理運営受託者の決定　整備着工
平成32年度	工事完了⇒リニューアルオープン

1. 復興の現状と
今後の事業展開

2.市民が主役の
まちづくりに向けて

第２次 総合計画

将来像

世界とつながる 豊かなローカル

仕組み

対話・共創・協働による
「市民が主役のまちづくり」

イメージ

課題を「自分ごと」として捉え、
・チャレンジする
・チャレンジを応援する

協働のまちづくり(例)

市民参加 ⇔ 行政参加

市の計画をみんなで考える

【気仙沼市第2次総合計画】
市民ワークショップ

参加者が起点となった実践

「みちくさプロジェクト」

「防災フェスタ」

地域の役割を考え行動する

【階上まちづくり協議会】
中越地震震災遺構視察

震災遺構・伝承館での語り部活動

まちづくり協議会への支援

市では，震災からの復興や地域の活性化に向けて地域住民が主体的に組織し活動するまちづくり協議会に対して支援を行うとともに，まちづくりの担い手の育成を行っています。

復興まちづくり協議会運営費補助金

（平成25年度～）

まちづくり協議会の運営に必要な経費の一部を補助します。

■対象団体の要件

震災からの復興に向けたまちづくりに関する協議や活動を主たる目的として組織され，自治会その他地域団体と連携した団体であることなど。

■補助金額

地域住民等の世帯数及び事業所数に応じ5万から100万円まで

■補助対象経費

・会議資料，広報誌，パンフレット等の作成に要する費用
・まちづくり協議会構成員の意向把握に関する費用
・まちづくり計画の作成に関する費用等

■平成28年度実績　９協議会
■平成29年度実績　８協議会
■平成30年度実績　４協議会
（平成30年10月1日現在）

地域活性化支援員の設置

（平成29年度～）

地域活性化支援員をまちづくり協議会に配置します。

市が委嘱し配置した地域活性化支援員は、まちづくり協議会の事務局員として事務を行いながら，地域の調査・点検や課題の整理，課題解決に向けた取り組みを行います。

■対象団体の要件

気仙沼（2区域），鹿折，松岩，新月，階上，大島，面瀬，唐桑，本吉の各地区を対象として，まちづくり活動をしている組織で，自治会その他地域団体と連携した団体であることなど。

■配置人数

まちづくり協議会毎に各１名

■平成29年度実績　３協議会
■平成30年度実績　５協議会
（平成30年10月1日現在）

拠点の確保

公民館のまちづくりセンター化の検討

↓

検討経過等は次ページを参照

公民館のまちづくりセンター化の検討

【背景】
　東日本大震災後，市内各地域において，復旧・復興に関する市民活動が活発化し，まちづくりに関わる団体が設立されるようになった中で，生涯学習施設である公民館が，地域にとってより身近で様々な活動に利用されることが求められています。

第２次気仙沼市総合計画（抜粋）
　基本目標Ⅰ－１【対話・共創・協働】「市民が主役のまちづくりの推進」
　　③公民館の多機能化・まちづくりセンター化の検討

【検討の経過】
　7月13日　市職員（地域づくり推進課・教育委員会生涯学習課等）による，一関市への先進地視察
　8月23日　各地区自治会連絡協議会・まちづくり協議会等を対象に視察報告会を開催

【一関市における市民センター化の概要】
　①市民センターとは

地域の生涯学習の拠点としての機能（従来の公民館機能） ＋ **地域づくりの拠点としての機能（地域の特性を活かした地域づくり）**

　②公民館のエリアを単位とした地域で，自治会等の様々な団体で構成された「地域協働体」が市民センターの指定管理を受けるとともに，地域づくり事業を実施
　③公民館から市民センターへの円滑な移行
　　(公民館時と同数の職員配置，指定管理開始後1年間は公民館職員の配置，本庁及び支所へ地域担当職員の配置など)

⇒ これから，地域の皆さんと話し合いながら，気仙沼市に合った形のまちづくりセンターを検討していきます

人を中心としたまちづくり－人材育成－

コミュニティ

○アクティブコミュニティ塾

40代以上の方々を対象に，地域における自らの行動計画を作成し地域で活躍する人材を育む連続セミナー＆ワークショップを開催。

■**実績**　第Ⅰ期（平成28年度）卒業者数:13名
　　第Ⅱ期（平成29年度）卒業者数:12名
　　第Ⅲ期（平成30年度）受講者数:25名

■講師　東北学院大学教授等

女　性

○アクティブ・ウーマンズ・カレッジ

10代～40代の女性を対象に，前向きな行動意欲を持った女性の育成を目的とする連続セミナー＆ワークショップを開催。

■**実績**　第Ⅰ期（平成28年度）卒業者数:13名
　　第Ⅱ期（平成29年度）卒業者数:14名
　　第Ⅲ期（平成30年度）受講者数:27名

■講師　明治大学教授等

産業人材

○気仙沼経営人材育成塾

有限責任監査法人トーマツの協力を得て，数字に強い経営者の養成を目指し開講。

■**実績**　Ⅰ期　平成29年11月～翌年3月　11人
　　Ⅱ期　平成30年12月～翌年5月予定

高校生

○気仙沼の高校生マイプロジェクトアワード

高校生のまちづくりへの参加意識の醸成と，卒業後，積極的に地域で活躍する人材の育成を目的とする連続セミナー。

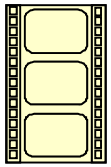
■**実績**　第Ⅰ期（平成29年度）修了者数:7名
　　第Ⅱ期（平成30年度）受講者数:14名

若　者

○ぬま大学

10代～30代の若者を対象に，地域に対する当事者意識の醸成と企画力の向上を図る連続セミナー。

■**実績**　第Ⅰ期（平成27年度）修了者数:13名
　　第Ⅱ期（平成28年度）修了者数:13名
　　第Ⅲ期（平成29年度）修了者数:10名
　　第Ⅳ期（平成30年度）受講者数:10名



考えてみましょう
「自分の地域の課題は何だろう？」

課題を「自分ごと」として捉え、
地域のみんなと共有し、

・チャレンジしてみよう

自分でチャレンジできない時は、

・人のチャレンジを応援しよう

市民一人ひとりが気仙沼のまちづくり・「わくわく」づくりの主役（担い手）です。

ご協力をお願いします。

－復興「ありがとう」ホストタウン－

◇インドネシア共和国からの支援

平成23年6月にユドヨノ大統領が気仙沼市を訪問し、復興資金として200万ドルの寄付をしていただきました。
地震の被害により使用できなくなった気仙沼図書館の建設費の一部として活用させていただき，平成30年3月31日に開館しました。館内の児童図書エリアの名称を「ユドヨノ友好こども館」と名付け、インドネシアからの震災復興支援の象徴としています。

ユドヨノ友好こども館の前で（H30.8.4）

◇復興「ありがとう」ホストタウンに登録

気仙沼市は平成30年7月27日，これらの復興支援への感謝と交流を目的に
インドネシア共和国を相手国として復興「ありがとう」ホストタウンに登録しました。

◇インドネシア共和国との絆を深めよう！！

2020東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機に，インドネシアの皆さんに復興支援への感謝の気持ちを表し，様々な形で交流を深め，日本へやってくるインドネシア選手団を市民の皆さんで応援しましょう

◇復興「ありがとう」ホストタウンってなに？

「復興五輪」と称される東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に，震災時に支援してくれた海外の国・地域を相手とし，被災時の支援に感謝を示しつつ，当地に招き交流を行ったり、復興のプロセスを見て頂いたりする取り組みとして政府が創設したものです。

宮城オルレ －気仙沼・唐桑コースの開設－

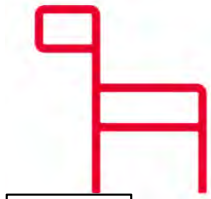
MIYAGI OLLE 宮城オルレ MIYAGI OLLE TRAIL

■宮城オルレ「気仙沼・唐桑コース」の開設

宮城オルレ「気仙沼・唐桑コース」が，平成30年10月7日（日）にオープンしました。

唐桑半島の美しいリアス海岸や森の道を巡り，海とともに生きてきた人々の暮らしを感じる10kmのコースです。

コースには，100を超えるリボンや矢印，見どころを示すカンセといったオルレ特有の標識が設置され，誰でも自由に歩くことができます。



カンセ

矢印

リボン

■オルレとは？

韓国・済州島から始まったトレッキングコースの名称です。もともとは済州の言葉で「通りから家に通じる狭い路地」という意味です。

山，海岸線などの自然や民家の脇の古い路地など地域の文化を感じながら，自分なりのペースでゆっくりと歩き楽しむ徒歩観光です。

宮城オルレは，九州に次いで日本で2番目に認定され，気仙沼・唐桑コースは宮城オルレの1番目のコースです。

気仙沼の観光がおもしろい –ちょいのぞき気仙沼–

3. 各地区・地域の課題

本日の「懇談テーマ」

担当から内容を説明した後、皆さまからご意見をいただきます。

①コミュニティについて　P25
②インフラについて　P26

松岩地区「地区の課題」

懇談テーマ①コミュニティについて

現在の課題	地域の皆さまが取り組んでいる・取り組みたい内容	課題解決に向けて **市に求めるもの**	**市の考え方・方向性**
自治会活動に欠かせない住民情報の把握 個人情報保護法によって、自治会活動に欠かせない住民の個人情報が、未だ自治会等に提供されないという状況が続いている。 （昨年から、自治会での住民情報収集に向けた支援の在り方を含め「地域自治組織における世帯名簿等の開示に関するワーキング会議」が継続して開催され、開示・取扱いの具体化について議論が深められ、自治会への説明会も開催されている。）	住民情報は自治会活動、コミュニティの構築に向けての必要不可欠な情報であり、大震災での教訓からも早急な対応が求められる。	一日も早い自治会における住民情報整備に引き続き善処されたい。	・気仙沼市自治会長連絡協議会（自治連）等とのワーキング会議において、世帯名簿の提供に法律上制約のある市によるのではなく、自治会が市の支援を受けながら自ら名簿作成を行うことを確認（H29.12月）。 ・松岩地区を含め、市内全ての自治会に対し、説明会を実施（H30.1～3月）。 ・地域バランスや災害公営住宅の有無等を勘案のうえ、市内５自治会をモデル地区に選定し、世帯名簿の作成を試験的に先行実施（H30.7・8月）。 ・モデル地区での先行実施により明らかになった課題を整理のうえ、全自治会での実施に向け、現在、自治連と調整中。 【総務課、地域づくり推進課】

松岩地区「地区の課題」

懇談テーマ②インフラについて（1/6）

現在の課題	地域の皆さまが取り組んでいる・取り組みたい内容	課題解決に向けて **市に求めるもの**	**市の考え方・方向性**
1.松岩地区まちづくり計画・構想 三陸沿岸道路「気仙沼中央ＩＣ」が供用開始されたが、片浜・古谷舘地区においては未だ何等復興・整備計画が明らかになっていない。 このまま現状が放置されるならば一帯は一層の葦野原・荒地化が進み、地域住民にとって全く政治の恩恵に浴されない事態が継続。	松岩地区まちづくり協議会が平成26年に提言した計画構想に沿った一日も早い具現化を再度要請。	①県道気仙沼唐桑線の面瀬川橋架け替えに伴う住民説明会において、古谷舘地区の嵩上げを要望したが、実現していない。 現在、大雨時には路面冠水により多大な生活・交通への支障が頻繁に発生しているため、早急な路面冠水の解消。 ②県道・市道等の路面冠水が著しく、道路交通や民間の土地利用に支障が生じているため、都市下水路排水ポンプ場の早期全面・本格稼働。	・都市下水路ポンプ場は平成26年3月に復旧工事が完成。放流渠及び吐き口の復旧工事は、県の松岩漁港の防潮堤工事との調整が必要なことから、平成31年度の完成予定。 ・松崎片浜地区冠水対策事業は、雨水幹線と雨水ポンプの新規整備により雨水を都市下水路へ排水する計画で、平成31年度より工事に着手し、平成32年度内の完成予定。 ・完成までの期間、大雨時の冠水対策として、県と市が連携しパトロールや排水ポンプ等対応により維持管理。 ・松岩都市下水路の復旧状況、冠水対策については、次ページのとおり 【下水道課・土木課】

②インフラについて－市の考え方・方向性－

担当課 下水道課　連絡先 23-1010

取組状況

- 平成26年3月
  松岩都市下水路ポンプ場復旧工事　完成
- 平成28年7月
  松岩都市下水路(南幹線)復旧工事　完成
- 平成29年10月
  松岩都市下水路(中央幹線(上流部))復旧工事　完成
- 平成30年9月～平成32年2月
  松岩都市下水路ポンプ場
  （放流渠・吐き口）復旧工事　58.7m

新 平成30年6月～平成31年3月
松崎片浜地区冠水対策事業雨水幹線詳細設計業務

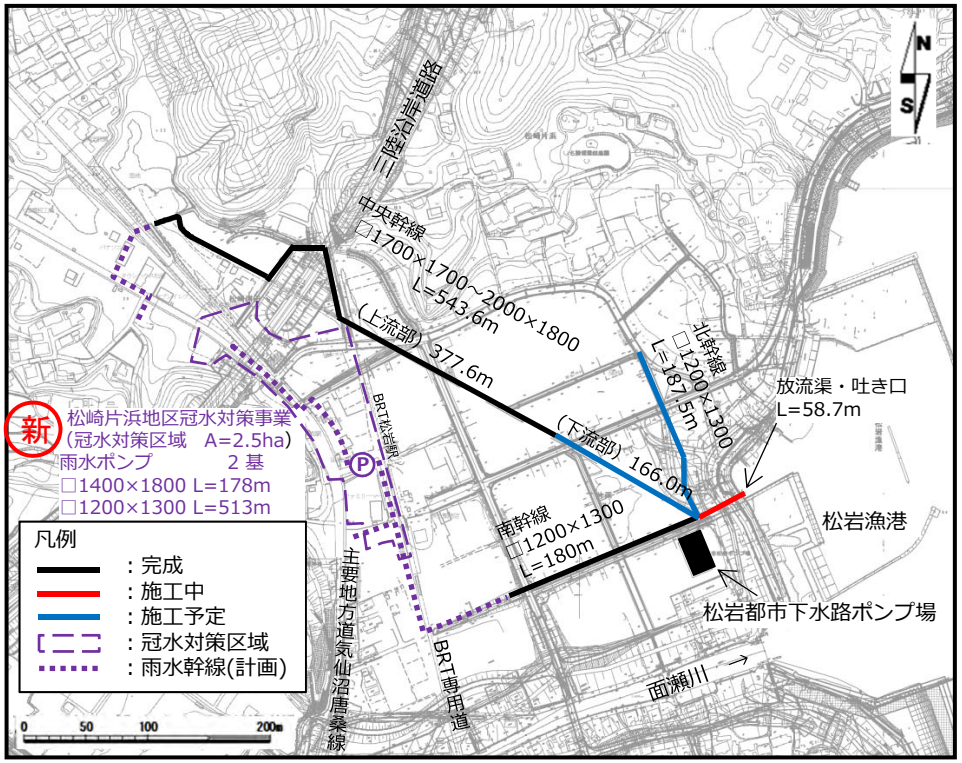
今後の予定

平成30～32年度施工予定

- 松岩都市下水路(北幹線)復旧工事　187.5m
- 松岩都市下水路(中央幹線(下流部))復旧工事　166.0m

新 松崎片浜地区冠水対策事業　雨水ポンプ　2 基
雨水幹線(計画)　691.0m

災害復旧事業及び冠水対策事業　説明図



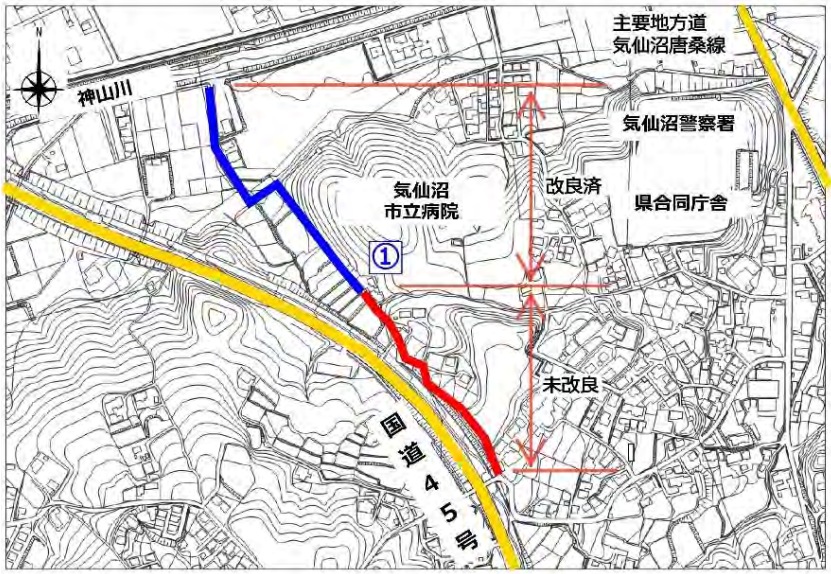
松岩地区「地区の課題」

懇談テーマ②インフラについて（2/6）

現在の課題	地域の皆さまが取り組んでいる・取り組みたい内容	課題解決に向けて**市に求めるもの**	**市の考え方・方向性**
		③片浜、古谷舘地域内の狭隘な市道等を避難路として早急に拡幅整備。	・新たな整備は平成32年度内に策定する市内全域を対象とした市道整備計画の中で検討。 ・道路パトロール・維持補修による通行車両等の安全確保。 【土木課】
2.国道45号及び県道気仙沼唐桑線の慢性的交通渋滞解消 防災集団移転団地に通じる市道について、幹線道路へのアクセス道路の新設又は拡幅整備。 杉ノ沢地区と条南地区を結ぶ神山川市道橋は、車道橋ではなく歩道橋とされ、年内に最終的な計画が示されるが、この場所に車道橋がないことにより、交通渋滞が著しい国道45号上田中地内交差点及び県道気仙沼唐桑線神山橋付近の慢性的な交通混雑は、解消されない。		抜本的な渋滞解消策の検討。	・神山川横断歩道橋は、現在、詳細設計中。11月末に改めて説明会を開催予定。工事は平成31年度着手、平成32年度完成予定。 ・国道45号上田中地内交差点の交通渋滞解消について、接続する市道田中前港町線(中谷地交差点～上田中交差点)の信号機の時間調整等を警察と協議。 ・県道気仙沼唐桑線神山橋付近の慢性的な交通混雑について、当該路線区間の信号設置間隔が短いことも起因していることから、信号機の時間調整等を警察と県に要請。 【土木課】

松岩地区「地区の課題」

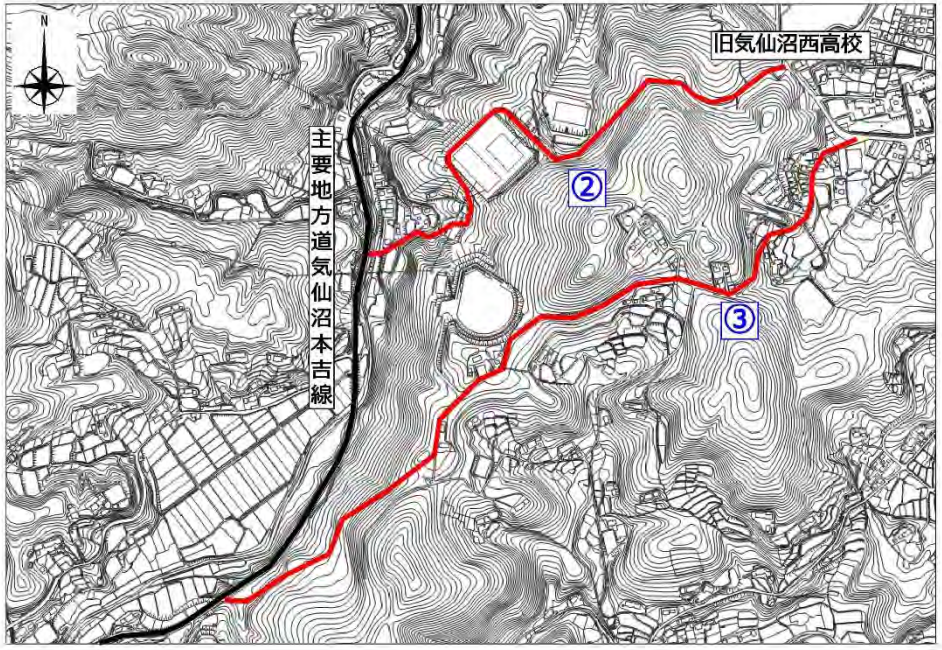
懇談テーマ②インフラについて（3/6）

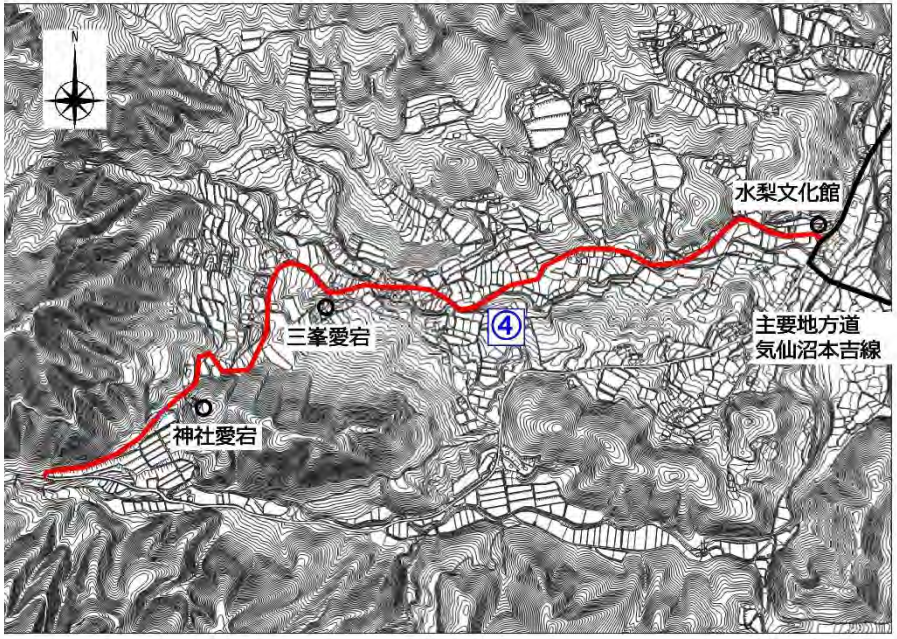
現在の課題	地域の皆さまが取り組んでいる・取り組みたい内容	課題解決に向けて **市に求めるもの**	**市の考え方・方向性**
3.市道等の整備 防災集団移転事業、災害公営住宅建設事業及び民間の宅地開発等により、交通動態の変化が著しく、朝夕の通勤時間帯、産業経済活動の活発化に伴い交通混雑が顕在化		下記市道はもとより他市道の狭隘箇所の早期解消整備。また、今後の施設建設・施設移転に際しては、早期段階から地域住民や関係機関との協議・調整・連携を深め、施設立地・移転後の交通体系等を見通した道路整備。	
		①市道杉ノ沢石甲線は、県合庁や警察署等と市立病院へ通じる路線として、最近特に交通量増加の路線。未舗装部分も存在することから、全線拡幅工事を含め早急な整備。	・市道杉ノ沢石甲線L=644mのうち、神山川右岸から市立病院までの区間(L=329m)は拡幅改良済。残る未改良区間(L=315m)は、道路パトロール・維持補修による通行車両等の安全確保。 ・新たな整備は平成32年度内に策定する市内全域を対象とした市道整備計画の中で検討。 ・国道45号から県合同庁舎及び警察署までのアクセス改善について、平成29年５月、県に要望書を提出、引き続き県に働きかける。【土木課】

松岩地区「地区の課題」

懇談テーマ②インフラについて（4/6）

現在の課題	地域の皆さまが取り組んでいる・取り組みたい内容	課題解決に向けて **市に求めるもの**	**市の考え方・方向性**
		②市道柳沢牧沢線の拡幅整備。 ③市道柳沢迎前田線の拡幅整備。 ④羽田線の全面拡幅整備。	・新たな整備は平成32年度内に策定する市内全域を対象とした市道整備計画の中で検討。 ・道路パトロール・維持補修による通行車両等の安全確保。 【土木課】

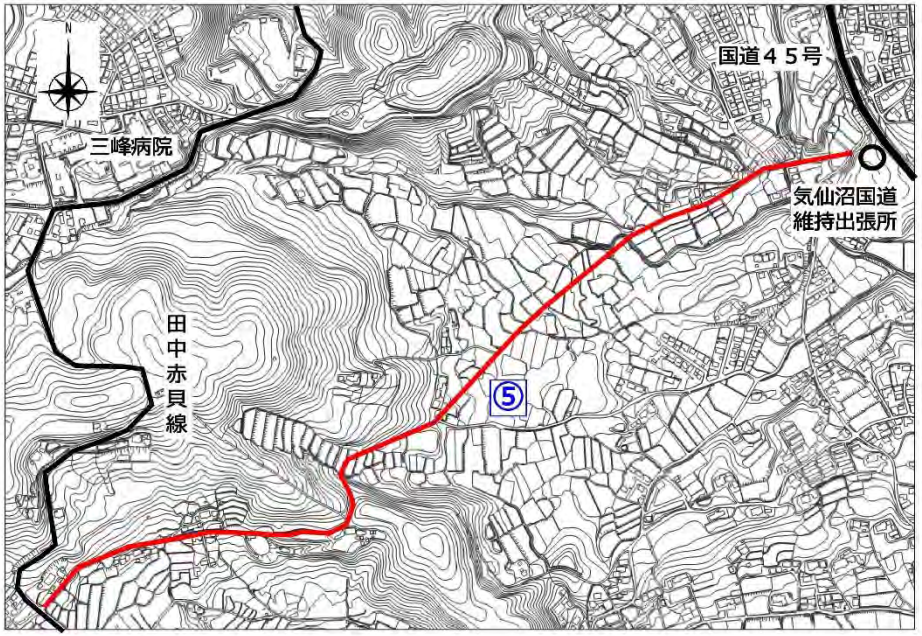


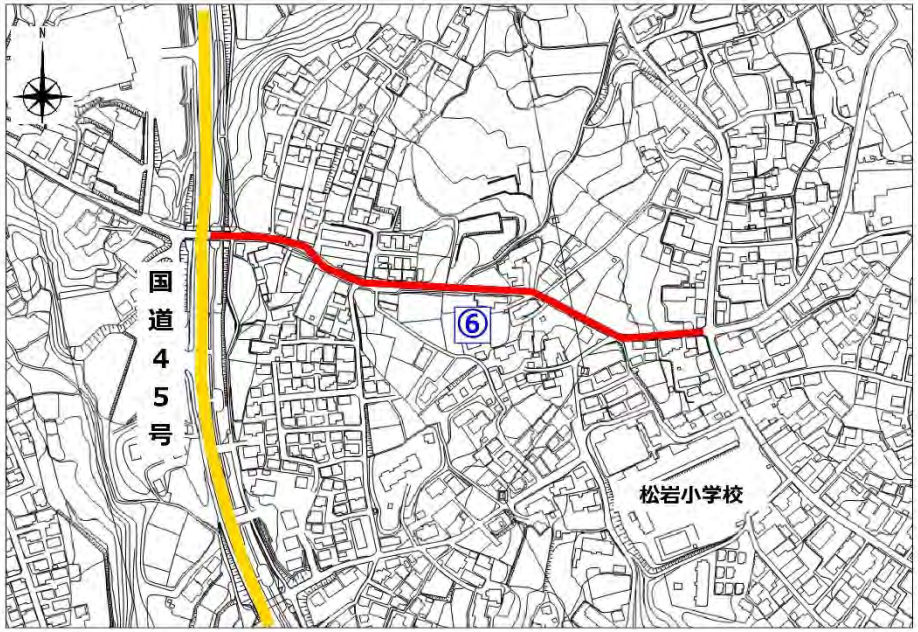


松岩地区「地区の課題」

懇談テーマ②インフラについて（5/6）

現在の課題	地域の皆さまが取り組んでいる・取り組みたい内容	課題解決に向けて **市に求めるもの**	**市の考え方・方向性**
		⑤市道五駄鱈舘石線の拡幅整備。 ⑥市道泥ノ木柳沢線の歩道も含む拡幅整備。	・新たな整備は平成32年度内に策定する市内全域を対象とした市道整備計画の中で検討。 ・道路パトロール・維持補修による通行車両等の安全確保。 【土木課】





松岩地区「地区の課題」

懇談テーマ②インフラについて（6/6）

現在の課題	地域の皆さまが取り組んでいる・取り組みたい内容	課題解決に向けて **市に求めるもの**	**市の考え方・方向性**
		⑦市道田中赤貝線の、赤岩牧沢地内から赤岩平貝地内区間における冬道の安全確保。	・除融雪作業による安全確保。 【土木課】
		⑧県当局に対し、県道気仙沼本吉線の拡幅整備を引き続きの働きかけ。	《県からの回答》 ・当該路線は、三陸沿岸道路整備後の交通状況を見た上で、整備の必要性を検討。 ・利用者の安全な通行を確保するため、舗装補修・区画線の設置等を取り組み、待避所の設置等も検討。 《市の対応》 ・地元自治会と協力し、拡幅整備を県へ要望。 【土木課】

市道の整備方針について－市道整備の優先度及び道路整備計画－

担当課　土木課　連絡先　22-6600　内線572・575

現在，復旧・復興事業を優先していることから，新たな市道整備計画は，復旧・復興事業が完了する見込みである平成３２年度内に策定予定

◆道路整備計画策定スケジュール

年度	実施内容
平成30年度	・評価基準や整備優先度等の審査を行う会議体を設置 ・補助事業の採択可能性等，財源確保の見通しを盛り込んだ道路整備計画策定の方針案を定める ・自治会要望路線等を含め，現地調査を実施
平成31年度	・現地調査のとりまとめ ・路線毎の評価，整備水準，優先度の案を作成 ・地区毎の説明会を開催し，整備計画案を策定
平成32年度	・整備計画案を基に，地区毎の説明会，パブリックコメント等を実施 ・最終検討を行い，道路整備計画を策定

※ 策定にあたっては，公共施設等総合管理計画及び橋梁長寿命化修繕計画との整合性を図るとともに，各種施策や財源の見通し，財源確保等を考慮

インフラ －松岩地区市道等の災害復旧及び整備の状況－

◆市道の整備状況
　整備路線数　11路線　L=7,821.6m（うち完了延長L=2,909.6m）
　（うち工事中延長L=1,730.0m）
◆漁集事業による集落道整備
　整備路線数　1路線　L =161.0m
◆東日本大震災により被災した市道の復旧
　復旧路線数　15路線　L=6,208.7m
　うち　完了　2路線　L=　164.4m(一部完了L=646.4m)
　うち工事中　4路線　L=　686.4m
　うち工事予定　9路線　L=4,711.5m

担当部署：土木課
都市計画課
水産基盤整備課

◆市道の整備状況

※位置図は36頁参照

No.	箇所図番号（※）	路線名等	内容	延長(m)	幅員(m)	現在の状況	着工年月（予定）	完了年月（予定）
1	①	朝日町赤岩港線	改良・舗装	1,180.0	10.5～16.0	用地 工事中(419.0m) 一部工事完了(620.0m)	H27.12	H33.3
2	②	潮見町赤岩五駄鱈線	改良・舗装	1,570.0	20.0	用地・補償 工事中(776.0m) 一部工事完了(260.0m)	H27.7	H33.3
3	③	五駄鱈北沢線	改良・舗装	850.0	①7.5 ②5.6	工事中(398.0m) 工事発注準備中（452.0m）	H30.1	H32.6
4	④	松崎前浜地区 防集道路	改良・舗装	①173.4 ②400.0	①6.0 ②6.5～8.0	工事完了	①H25.9 ②H25.9	①H29.3 ②H29.3
5	⑤	面瀬川線 （県道～防集団地）	改良・舗装	1,370.0	9.5	用地・補償 工事中（137.0m）	H30.9	H33.3
6	⑥	神山川横断歩道橋	歩道橋新設	58.0	3.0	測量設計中	H31.6	H33.3
7	⑦	石甲１・２号線	現道内拡幅	166.2	4.0～5.3	工事完了	H29.11	H29.12
8	⑧	田中赤貝線	現道内拡幅	1,290.0	7.0～9.0	工事完了	H28.8	H29.9

インフラ －松岩地区市道等の災害復旧及び整備の状況－

◆市道の整備状況

※位置図は37頁参照

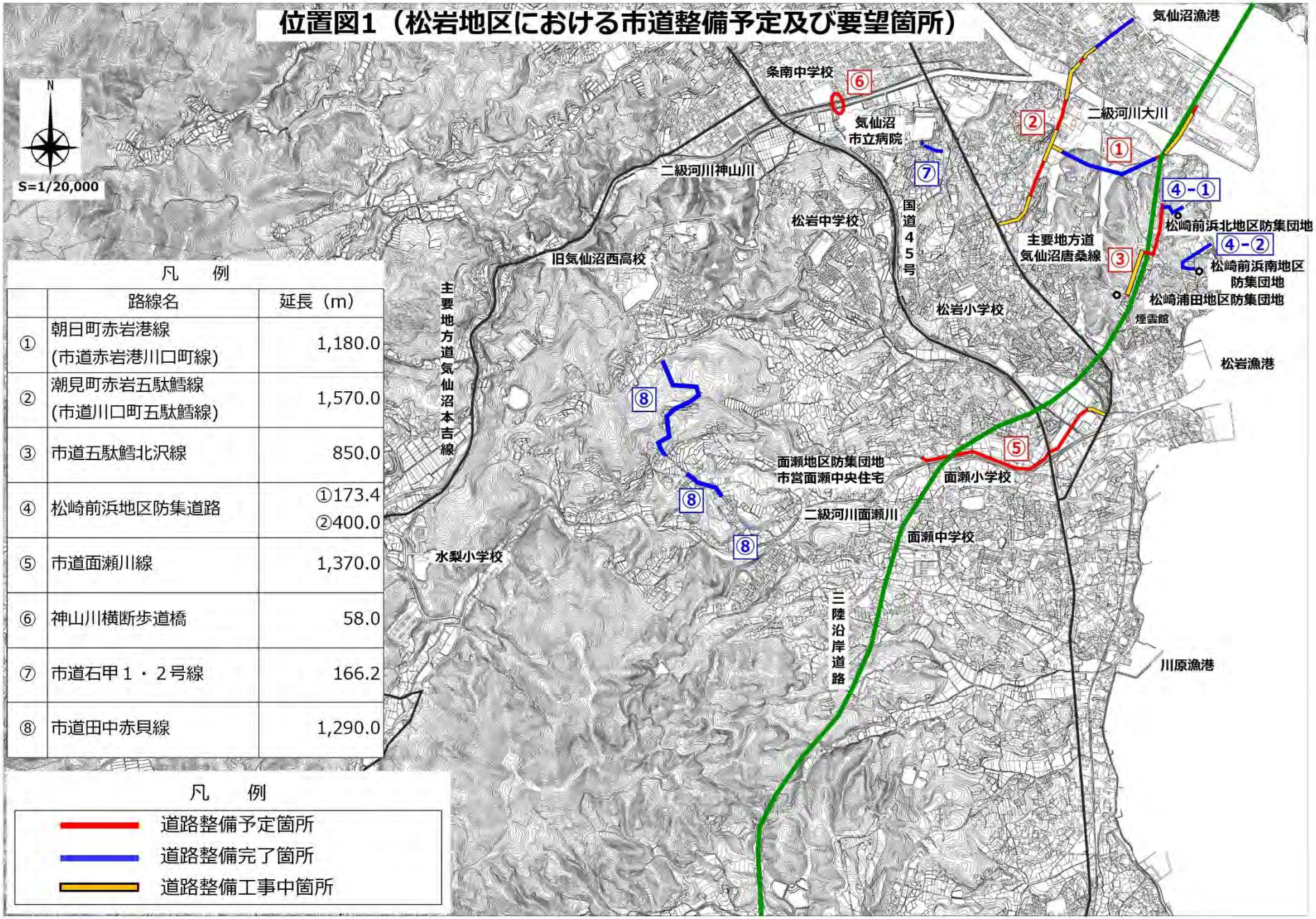
No.	箇所図番号（※）	路線名等	内容	延長(m)	幅員(m)	現在の状況	着工年月（予定）	完了年月（予定）
9	⑨	瘻槻４号線	改良・舗装	188.0	5.0	用地・補償	H31.6	H33.3
10	⑩	長柴高前田線	改良・舗装	314.0	9.5	測量設計中	H32.6	H34.3
11	⑪	大滝長柴線	改良・舗装	262.0	9.5	測量設計中	H32.6	H34.3
計				7,821.6				

◆漁集事業による集落道整備

※位置図は38頁参照

	位置図番号（※）	路線名等	内容	延長(m)	幅員(m)	現在の状況	着工年月（予定）	完了年月（予定）
1	⑯	前浜集落道	新設	161.0	4.0	工事中	H29.4	H32.9
計				161.0				

位置図1（松岩地区における市道整備予定及び要望箇所）



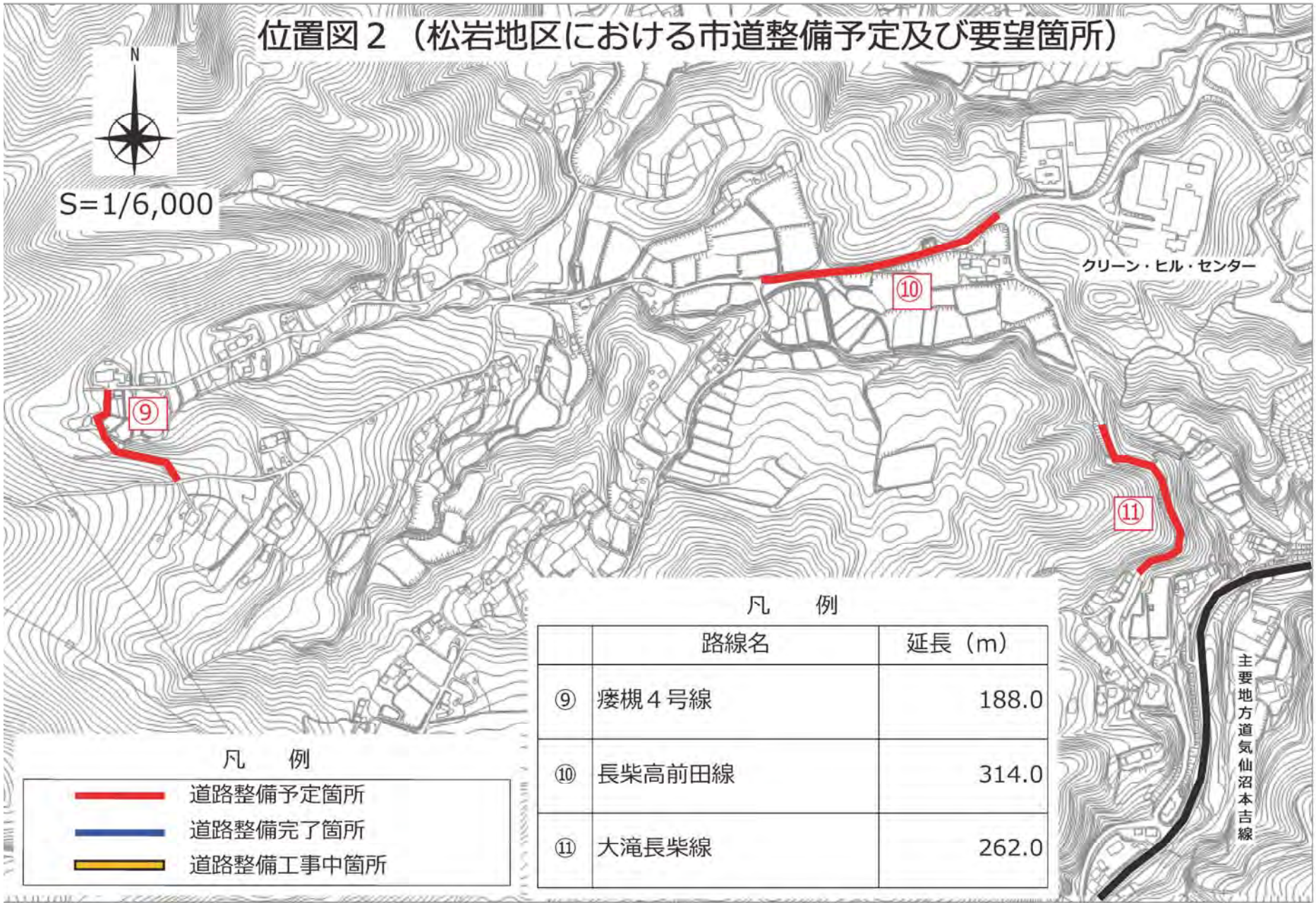
凡　例

	路線名	延長（m）
①	朝日町赤岩港線 (市道赤岩港川口町線)	1,180.0
②	潮見町赤岩五駄鱈線 (市道川口町五駄鱈線)	1,570.0
③	市道五駄鱈北沢線	850.0
④	松崎前浜地区防集道路	①173.4 ②400.0
⑤	市道面瀬川線	1,370.0
⑥	神山川横断歩道橋	58.0
⑦	市道石甲１・２号線	166.2
⑧	市道田中赤貝線	1,290.0

凡　例

- 道路整備予定箇所
- 道路整備完了箇所
- 道路整備工事中箇所

位置図２（松岩地区における市道整備予定及び要望箇所）



凡　例

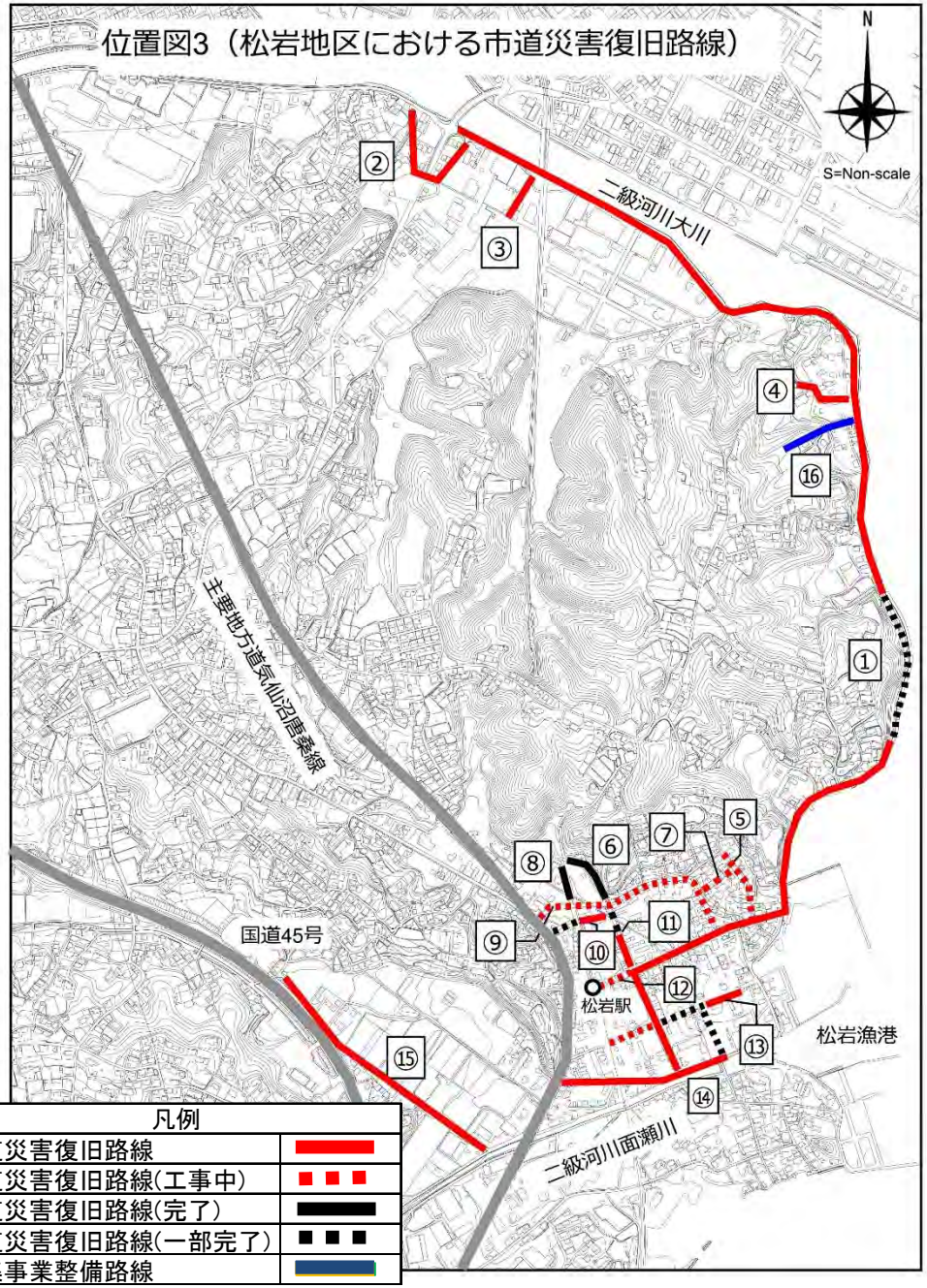
	路線名	延長（m）
⑨	痠槻４号線	188.0
⑩	長柴高前田線	314.0
⑪	大滝長柴線	262.0

松　岩　地　区

◆市道災害復旧路線

	路線名	延長(m)	状況
①	港岩井崎線	3,555.1	一部完了(343.7m) H31年度予定
②	港1号線	298.3	H31年度予定
③	港2号線	105.0	H31年度予定
④	前浜1号線	60.0	H31年度予定
⑤	前浜7号線	79.1	工事中(準備工)
⑥	片浜浦田2号線	113.1	完了
⑦	片浜3号線	86.9	工事中(準備工)
⑧	片浜4号線	51.3	完了
⑨	片浜5号線	465.2	工事中(準備工)
⑩	片浜6号線	119.1	一部完了(72.9m) H32年度予定
⑪	片浜7号線	142.4	一部完了(94.9m) H32年度予定
⑫	片浜9号線	55.2	工事中(準備工)
⑬	片浜12号線	280.0	一部完了(83.0m) H32年度予定
⑭	片浜13号線	523.7	一部完了(51.9m) H32年度予定
⑮	中瀬高谷線	274.3	H31年度予定

(　)内は一部完了延長

◆漁集事業整備路線

	路線名	延長(m)	状況
⑯	前浜集落道	161.0	H32年度予定